



**「センダン」の実を植えました  
注目の早生樹**

昨年一月に開催した「技術開発担当者会議」において、課題のひとつとして早生樹・センダンの実の採種を提案したところ、各署等から送付して頂きました。(写真上) それらの約八〇〇個を三月一〇日に播種しました。(写真下)

**来年以降、各署等にお返し**

播種に当たっては、研究機関をはじめ、民苗生産者を訪ねるなど、事前の学習も行いました。

早生樹として「センダン」は、今後とも注目されます。

今年、上手く芽が出てコンテナ容器等に植え替えて来年以降、各署等へお返し出来るように管理して行く考えです。

## 竹のじゃかごを見ました

3月16日(水)、土佐清水市の三崎川のせきに伝統の竹蛇籠(たけじゃかご)で作った魚道を、四万十署員とともに視察しました。

設置したのは、研究グループ「はたのおと」で、説明を頂いた山下慎吾さんが代表を務めています。工法は、モウソウチクの割り竹を俵状に編んだ長さ2.3m、直径40~50cmの竹蛇籠に河川敷の石を詰めるものです。(写真左近景、右全景)

山下さんは、自然に負荷のないモウソウチクを活用し、ハゼ類やウナギなどの遡上が増える期待も話されました。

局でも森林技術・支援センターが、モウソウチクを活用したシカ食害対策(四万十・安芸署)に取り組んでいます。



## 4. 1付 異動になりました。

「よろしくお願いします」

技術普及課企画係長として着任しました北川絵美(前総務課 共済組合係長)です。よろしくお願いします。

「お世話になりました」

このたび、四万十森林管理署首席森林官(須崎、東津野担当区)(須崎・東津野森林事務所)として異動になりました。企画係長としての2年間、皆さまにお世話になりました。ありがとうございました。

(村上 隆敏)

このたび、愛媛森林管理署業務グループ係員として異動になりました。緑の普及係員としての8箇月間、皆さまにお世話になりました。ありがとうございました。

(毛利 靖子)

## 編集後記

4月に入り 少しずつ暖かくなりました。春眠暁を覚えず。毎日の体調に留意を。今年度もよろしく申し上げます(編集委員一同)。

